

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	合唱
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな	しんこくりつげきじょううんえいざいだん		団体ウェブサイトURL
制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団		https://www.nntt.jac.go.jp/
代表者職・氏名	理事長 銭谷眞美		
制作団体所在地	〒 151-0071	最寄り駅(バス停)	京王新線 初台駅
	東京都渋谷区本町1丁目1番1号		
電話番号	03-5351-3011(代表)		
ふりがな	しんこくりつげきじょうがっしょうだん		団体ウェブサイトURL
公演団体名	新国立劇場合唱団		https://www.nntt.jac.go.jp/opera/chorus/
代表者職・氏名	理事長 銭谷眞美 (公益財団法人 新国立劇場運営財団)		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1993年4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	会長:十倉 雅和 理事長:銭谷 眞美 芸術監督:大野 和士(オペラ)		会長1名、顧問6名、評議員24名、理事20名(うち理事長1名、常務理事3名)、監事2名、会計監査人2名、芸術監督3名、芸術参与1名、修所長3名、職員155名等
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	高橋 徹
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	総務部長 山下 登
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	高橋徹takahashi_t0226@nntt.jac.go.jp、朝日美佳asahi_m2015@nntt.jac.go.jp、尾ノ井康太onoi_k1144@nntt.jac.go.jp、田中晶子tanaka_a0801@nntt.jac.go.jp、佐渡慶一郎sado_k1003@nntt.jac.go.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1993年4月 財団法人第二国立劇場運営財団設立 1995年4月 劇場名が新国立劇場と決定し、同時に名称を財団法人新国立劇場運営財団と改める。 1997年10月 新国立劇場オペラ「建・TAKERU」にて開場、以後オペラ・舞踊・演劇といった現代舞台芸術の自主公演を継続的に上演する。 1998年4月 1998/99シーズンより新国立劇場合唱団を組織、オペラ「蝶々夫人」出演 2012年4月 公益財団法人に移行。公益財団法人新国立劇場運営財団となる</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2008年6月、2011年12月、2015年11月 三鷹市明星学園小学校音楽鑑賞会 2013年5月 松本市内全中学校 芸術鑑賞会 2015年6月 上田市内高等学校 芸術鑑賞会 2016年6月 長野市内高等学校 芸術鑑賞会 2017年5月 長野市内中学校 芸術鑑賞会 2018年6月 松本市内小学校 芸術鑑賞会 2023年6月 東京都国分寺高等学校 芸術校鑑賞会 2009年度より現在まで、文化庁本事業に参加</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2010年 1月 広島県広島特別支援学校 2012年 9月 青森県立青森若葉養護学校 2013年 2月 北海道白糠養護学校 2015年 9月 神奈川県立中原養護学校、愛知県立豊橋特別支援学校 2016年 6月 神奈川県立中原養護学校 2017年11月 滋賀県立野洲養護学校 2024年 6月 長野県稲荷山養護学校 2024年 6月 愛知県立佐織特別支援学校</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.nntt.jac.go.jp/opera/chorus/education/</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>	
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>	

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 新国立劇場合唱団】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 合唱特別コンサート			
企画のねらい	歌の歴史的な解説や様々な種類の声を使った楽曲を横断的に取り上げることで、音楽表現に興味をもつていただき、更にオペラでは「舞台芸術」を理解し、表現することの意味や音楽を聴く楽しみを体験してもらいたいと考えております。			
演目概要・演目選択理由	<p>◎各校の校歌演奏(混声四部合唱に編曲):演奏会の導入に当該校の校歌を合唱で演奏することによって、プログラムへの関心を高めます。身近にある歌が合唱になることによって変化することによって歌の多様性を感じていただくことも狙いのひとつとします。</p> <p>◎日本の歌・世界の歌・オペラの世界 児童に親しみのある曲を合唱で聴くことによって歌うことの楽しみを感じていただきます。高い演奏技術で世界的に評価されている「新国立劇場合唱団」の演奏で様々な合唱を堪能していただけます。その演奏をもとに歌や合唱の歴史、クラシック音楽やオペラの話を取り入れていきます。</p> <p>新国立劇場合唱団の演奏の基盤である「オペラ」においては、小学生に対して「歌いながらする劇」というような解説、中学生に対しては歴史・成り立ちを簡単に説明するとともに、オペラが「音楽」「演技」「言葉」などの複合要素で構成されている舞台芸術であることも理解していただきます。</p> <p>○曲目:童歌「ほたるこい」(女声合唱) 民謡「ソーラン節」(男声合唱) 日本の名歌(混声合唱) ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」より抜粋 マスカーニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」より オレンジの花は香り(混声) チャイコフスキー作曲「エウゲニ・オネーギン」より いちごを摘む村娘たちの歌(女声) ウェーバー作曲「魔弾の射手」より 狩人の合唱(男声) ヴェルディ作曲「椿姫」より 乾杯の歌(混声)</p> <p>◎総合ワークショップ～合同演奏:事前に行うワークショップを基に「全校生徒」で各校の「校歌」の歌唱指導、合唱指導を行います。事前のワークショップから引き続き発声方法の指導、その後各校生徒児童にとって将来にわたって歌われるであろう「校歌」(各校の事情により愛唱歌でも可能)の歌唱、合唱指導となります。</p> <p>◎アンコール曲(曲目未定) ※曲目は変更の可能性があります。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	演奏会の冒頭では「校歌」を混声四部合唱に編曲して演奏いたします。プログラム後半の総合ワークショップ～合同演奏では各校校歌(愛唱歌も可能)を、指導しながら一緒に演奏することにより、より身近に音楽の素晴らしさを体験していただきます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10名～1,000名	
		鑑賞人数目安	10名～1,000名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	新国立劇場合唱団 舞台芸術等総合支援事業プログラム(小学校 低学年・中学年・高学年 及び中学生向け) 【プログラム構成】 1. 校歌演奏 2. 日本の歌・世界の歌・オペラの世界 3. 学校との合同演奏 学校校歌、学校希望曲など		90 分	
出演者	指揮: 富平恭平・水戸博之 ピアノ: 平塚洋子・古瀬安子 合唱: 新国立劇場合唱団 30名(メンバー表別添)			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>富平恭平(指揮者): 東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。群馬交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、千葉交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、東京交響楽団を指揮している。オペラでの活動が多く、多数の公演で副指揮者、合唱指揮者、コレペティトゥア、ピアニスト、プロンプターなどオペラに関わるあらゆる仕事をつとめている。新国立劇場合唱団指揮者。</p> <p>水戸博之(指揮者): 北海道江別市出身。東京音楽大学作曲指揮科(指揮)卒業。これまでに札幌響、仙台フィル、山形響、新日本フィル、東京響、東京フィル、日本フィル、読売日本響、神奈川フィル、名古屋フィル、中部フィル、京都市響、日本センチュリー響、広島響、九州響等に客演。また合唱指揮者として東京混声合唱団、新国立劇場合唱団と共演を重ね、多くのオペラ公演などで合唱指揮を務めた。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 32 名 スタッフ: 3 名 合計: 35 名	運搬	積載量: t 車長: m 台数: 0 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度			
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出		
	9時	9時～11時		13時～14時30分	10分	14時30分 ～15時30分	16時		
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月		
	10日								
	10月		11月		12月		1月		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		10日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>									
									
									
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否			該当あり		該当コンテンツ名		各歌唱曲	
	該当事項がある場合		権利者名		各著作権者		許諾確認状況		採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 新国立劇場合唱団 】

ワークショップのねらい	姿勢や顔の表情、呼吸方法から説明をして基本的な発声の指導を行い、わかりやすい解説、圧倒的な声量と高度な技術を手本として指導してまいります。通常の話し声とオペラの発声との違い、本公演で取り上げる校歌や愛唱歌を題材として自分自身が楽しく歌うこと、仲間と歌うことが楽しめるように指導を行います。自分が声を出すこと、仲間のパートを意識すること、「一緒にものごとを作り上げることの楽しさ」というような話題もあわせて行います。本公演の総合ワークショップが非常に大きな位置を占めるプログラムとなっておりますが、その導入となる事前ワークショップと仕上げとなる本公演に含まれる総合ワークショップにより、その後の校内行事でも「校歌」(愛唱歌)を楽しく歌うことが出来るようになっていただき、学校生活を生き生きと過ごせるような体験をしてもらうよう考えております。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	10名～1,000名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>ワークショップは本公演で指揮をする指揮者がお話とピアノを担当し、4名の声楽家とともに実施いたします。声楽家はソプラノ/アルト/テノール/バスが各1名で混声合唱を演奏する基本編成となっております。</p> <p>前半は女性の高い声(ソプラノ)はオペラではどのような役を演じ歌唱するのか、それと対比する低い声(アルト)はどのような役柄を演じるのか。男性の高い声(テノール)は女性とどのような関係性を持つことがあるのか、低い声(バス)はテノールやソプラノとどのような関係で登場することが多いのか、などの解説を歌詞の内容を交えながら指揮者とやり取りをします。この後に新国立劇場合唱団が内外で高い評価を得ている「ベートーヴェン/交響曲第九番」を題材にして、合唱の仕組み・魅力をお話いたします。</p> <p>後半は普段学校で歌っている校歌を用いて発声練習を行います。その場で軽く体操をしていただき体をほぐし、児童・生徒(もしくは先生)の指揮・伴奏で校歌を歌っていただきます。その歌唱にコメントをしつつ、プロの声楽家のようにきれいな歌声を出すには、という導入から「姿勢」「呼吸」「響き」というキーワードを重要なポイントとして、引き続き指揮者が生徒・児童に歌唱テクニックの向上をわかりやすく解説していきます。声楽家たちは児童・生徒の間に入っていき、声をかけて指導を行います。ポイントを復唱しながら再度校歌の演奏をしていただき、顔の表情、歌詞の重要性、校歌の意義をお話します。</p> <p>本公演までポイントの復習を促すことで日常的に校歌演奏のイメージを広げてもらうようにします。</p> <p>最後に混声合唱で親しみのある曲を演奏し、本公演での本格的な合唱演奏に期待していただくようにして終了します。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 新国立劇場合唱団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 公益財団法人新国立劇場運営財団ではオペラ、バレエ、現代舞踊、演劇の公演を一年間を通して上演しています。しかしながら、新国立劇場での上演作品は装置の規模も大きく、特にオペラにおいては上演にかかる費用も高額になってしまうという状況もあり、東京の劇場を離れての上演を数多くできていないのが現状であります。そのような状況下ではありますが、当財団は世界に問う優れた舞台作品を出すのみではなく、次代の担い手である子どもたちにこそ優れた舞台芸術を提供していくべきであるという姿勢を保持し、オペラでは「高校生のためのオペラ鑑賞教室」、バレエでは「こどものためのバレエ劇場」などの青少年向けの公演を手掛けており、演劇についても家族で観劇できる作品上演を実施しております。</p> <p>装置を伴う舞台作品の上演は、新国立劇場以外の会場を使用する場合においても未だ地域の劇場や会館を使用しての活動のみであり、全国への普及活動については十分な活動とは言い難く、学校施設内での上演には至っておりません。そのような現状を踏まえた上で、本事業において生徒児童へ提供できる手段として「合唱」を選択いたしました。世界最高水準の芸術性を持ち、ここ数年来、劇場のオペラ公演のみならず、国内外の著名オーケストラや劇場・会館から高い評価を得ている新国立劇場合唱団をもって本事業に取り組むことにより、若い世代の記憶に残る演奏を行う同時に、プロの音楽家とともに音楽を奏でるという体験を通じて、児童生徒の達成感や自発性を促すことを目指しています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>本事業の実施にあたっては、生徒児童に高い水準の音楽を提供すると同時に、本事業実施校や地域において音楽芸術・舞台芸術に親しんでいただき、認知度を高めることも、国立劇場として重要な目的であると考えております。</p> <p>学校や教育委員会と実演団体は物理的距離があるため、メールを中心としたやり取りが多くなりがちですが、資料の受け渡しなどで行うメール文章の連絡事務のやりとりのみでは、多くの専門用語がある舞台芸術の進行を十分に把握しきれず、混乱が生じがちです。その上、学校体育館という限られた条件での舞台設営の準備を理解することが難しいというのが実情です。上記のことを踏まえ、メールを補足する形で「電話」でやり取りを行うことで、学校現場の事務的な負担を軽減し、即時に問題解決の糸口を探せるように心がけております。その際には、可能な限り内容をかみ砕いた表現を用いるとともに、通常の学校のカリキュラムや行事に組み込んでいただけるよう、実施校のご希望に沿って対応し、本事業実施にかかる学校現場のご負担を極力軽減すべく工夫をしています。なお、学校ごとに会場条件が少しずつ異なるため、事前に舞台スタッフが体育館の状況を確認し、準備から開催まで公演がスムーズに進行するようにチェックを行います。</p>
--	--

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 新国立劇場合唱団】

2024/2025シーズン 新国立劇場合唱団 メンバー名簿

契約メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	岩本麻里	小酒部晶子	高嶋康晴	佐藤勝司
2	直野容子	長澤美希	寺田宗永	タン・ジュンボ
3	中村麻梨絵	中野優子	中川誠宏	徳吉博之
4	福留なぎさ	吉田理絵	二階谷洋介	成田眞
5	前川依子		廣田亮	
6	渡邊早貴子		渡辺正親	
	6名	4名	6名	4名
	合計20名			

登録メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	嵐田美穂	相羽薫	阿部修二	秋本健
2	石井和佳奈	荒川恵美	岩本誠	飛鳥井亮
3	井上詩紀	石澤希美	岡田淳志	井出壮志朗
4	川越未晴	河合美紀	黒田大介	上野裕之
5	熊坂真里	北村典子	榛葉薫人	大森いちえい
6	黒澤明子	齊藤日向	高橋拓真	香月健
7	肥沼諒子	鈴木涼子	對馬紘也	金子宏
8	込山由貴子	立川かずさ	橋本大樹	下瀬太郎
9	近藤宏美	竹本あづみ	長谷川公	杉尾真吾
10	島内菜々子	野田千恵子	真野郁夫	田中雅史
11	中道友香	花房英里子	丸山哲弘	千葉裕一
12	真野路津紀	福岡章子	山田幸隆	照屋睦
13	山田知加	前田祐佳	渡辺文智	細岡雅哉
14	吉田桃子	松浦麗		的場正剛
15	和田しほり	丸山真木子		宮城島康
16	龍三佳代	山下千夏		
	16名	16名	13名	15名
	合計60名			

出演者

本公演出演人数は30名となります。